大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）
2023年 第28週（7月10日～7月16日）

今週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症　増加続く」

第28週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,722例であり、前週比7.3%減であった。定点あたり報告数の第１位はヘルパンギーナで以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.77、3.20、2.18、1.66、1.12である。

ヘルパンギーナは前週比21%減の925例で、北河内6.68、堺市6.32、南河内5.80、三島5.19、中河内5.17であった。

感染性胃腸炎は2%減の621例で、三島4.81、豊能4.13、中河内4.11である。

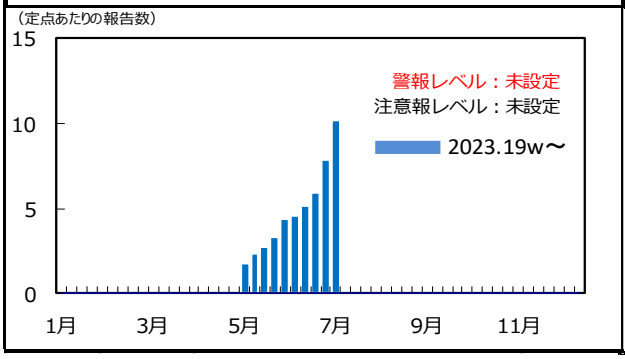
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2例減の422例で、北河内3.68、中河内3.00、堺市2.79であった。

RSウイルス感染症は10%減の322例で、南河内3.47、大阪市北部2.93、堺市2.05である。

咽頭結膜熱は35%増の217例で、大阪市南部2.17、大阪市北部1.71、大阪市西部1.60であった。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は前週比30%増の3,036例で、定点あたり報告数は10.22である。堺市11.93、南河内11.91、泉州11.72、大阪市西部11.27、北河内10.98であった。第20週以降9週連続で増加が続いている。

新型コロナウイルス感染症



ヘルパンギーナ

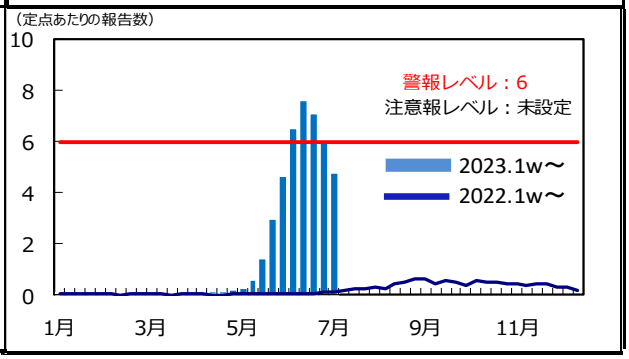


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2023年 第28週7月10日～7月16日）

第28週の順位	第27週の順位	感染症	2023年第28週の定点あたり報告数	前週比増減	2022年第28週の定点あたり報告数	2023年第28週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	ヘルパンギーナ	4.77	21%減	0.11	１歳_20%
2	2	感染性胃腸炎	3.20	2%減	4.26	１歳_14%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.18	増減なし	0.29	４歳_20%
4	4	RSウイルス感染症	1.66	10%減	6.49	１歳未満_37%
5	5	咽頭結膜熱	1.12	35%増	0.38	１歳_21%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	10.22	30%増	-	10-19歳_21%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

第28週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉･食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加することから、十分注意が必要である。

腸管出血性大腸菌感染症（大阪健康安全基盤研究所）

腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)

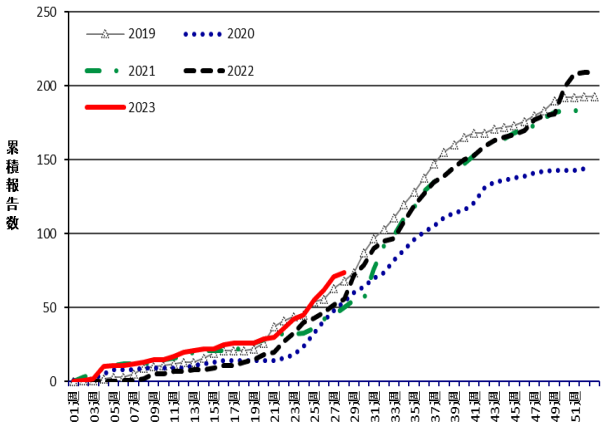


表２．大阪府全数報告数（2023年 第28週7月10日～7月16日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**3**							1	2	74
４類感染症	**レジオネラ症（肺炎型）**	**1**								1	71
	レプトスピラ症	**1**			1						1
５類感染症	**後天性免疫不全症候群**	**2**								2	37
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	**1**							1		28
	水痘（入院例）	**1**							1		14
	梅毒	**19**		1	2	1				15	1,108
結核 （2023年5月分）	**結核　新登録患者数：106名** （府内累積報告数　470名、内　肺･喀痰塗抹陽性　164名）										（内　肺･喀痰塗抹陽性　34名）

（2023年7月18日　集計分）